

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	豊かな産業のあるまちの形成
基本方針	活力ある商工観光業を振興するまち
基本施策名	観光の振興

	所属	職名	氏名
作成者	商工観光部	課長	望月 淳利
評価者	商工観光部	部長	鎌崎 孝善

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	<p>本市は、北アルプス連峰の麓に広がる豊かな田園風景や豊富な湧水、温泉や美術館、そして、世界かんがい施設遺産に登録された拾ヶ堰をはじめとした歴史的・文化的遺産など、多様な地域資源を有しています。</p> <p>H28年の観光地利用者統計では、訪日外国人を含め、対前年比プラス2.2%増の年間502.8万人の旅行者が本市を訪れています。しかしながら、順調に増加する外国人旅行者の宿泊を加えても、観光宿泊者数は停滞し、観光消費額も伸び悩んでいることから、「松本・上高地」、「大町・黒部ダム」といった近隣の観光地と組み合わせ、日帰り型、立ち寄り型として利用される傾向が強いと考えられます。</p> <p>今後は、知られざる新たな観光資源の洗い出しと創出・受入環境の整備を行い、安曇野市の魅力をより深く知っていただき少しでも長く滞在していただくための取り組みや、日帰りから宿泊につながる取り組みを進め、通過型から宿泊へと周遊滞在型観光による地域づくりが求められています。</p>
基本方針 (目指すべき方向性)	安曇野を体感できる体験・参加型メニューを提供することにより、来訪者に「安曇野暮らし」を提案します。また、従来の観光事業者の枠を超えた連携・交流により、他産業への経済効果を波及させ、地域の活性化を図ります。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
観光波及効果 (億円/年)	億円	211.7	215.4		184.1	197.7	91	順調	観光交流促進課
来訪者満足度で「大変満足」と回答の割合	%		25		39	33.1	132.4	予定以上	観光交流促進課
再来訪意向で「大変そう思う」と回答の割合	%		25		52	46.8	182	予定以上	観光交流促進課

施策指標の進捗状況と分析	<p>国の加速化交付金を活用し設立した「安曇野市海外プロモーション協議会」では、訪日外国人の誘客を推進するため、外国人モニターツアーを行いました。外国人目線で市内観光資源や受入環境について評価いただき「安曇野市外国人誘客のための海外戦略骨子」として報告され、Wi-Fi環境の整備・観光アプリケーションの製作等戦略に基づき具現化してまいりました。次年度以降更に基本戦略に沿った具体策を講じていく必要があります。</p> <p>また、「信州安曇野ハーフマラソン」等の交流イベントの開催を通じ新たな安曇野ファンの創出や、「安曇野しゃくなげの湯」開業による穂高温泉郷周辺への経済波及効果などをより促進するためにも、観光素材の掘り起こしや現在のコンテンツのブラッシュアップが急務です。</p>
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位: 円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0107190	安曇野ブランド創出事業	ブランド推進担当		7,379,056	3,412,906	3,975,000	3,925,000	18,691,962	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1	
2	0107210	天蚕センター維持管理事業	ブランド推進担当		3,828,900	4,247,296			8,076,196	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
3	0107220	天蚕振興事業	ブランド推進担当		1,240,070	2,146,485	3,351,000	1,051,000	7,788,555	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
4	0107230	来訪者受入環境整備事業	ブランド推進担当		7,103,085	8,970,316	6,572,000	6,572,000	29,217,401	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1	○
5	0107240	観光推進組織支援等事業	ブランド推進担当		57,787,800	53,964,852	52,850,000	52,850,000	217,452,652	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.5	
6	0107250	観光プロモーション事業	ブランド推進担当		16,407,533	26,065,730	26,158,000	26,158,000	94,789,263	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1	
7	0107260	広域団体連携事業	ブランド推進担当		6,825,700	8,021,700			14,847,400	定型業務	新規	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.3	
8	0107270	観光イベント事業	観光交流促進係		45,405,786	35,704,332	40,223,000	40,223,000	161,556,118	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	4	
9	0107280	しゃくなげの湯周辺整備事業	拠点維持整備係		149,175,744	192,388,613	162,250,000		503,814,357	ハード(継続)	継続	H30	現状のまま事業を実施することが適当	3	
10	0107300	温泉施設経営管理等事業	拠点維持整備係		16,146,980	5,997,351			22,144,331	施設の管理運営	継続	H35以降	現状のまま事業を実施することが適当	0.2	
11	0107310	廃線敷施設維持点検管理事業	拠点維持整備係		2,100,043	2,299,607			4,399,650	施設の管理運営	継続	H35以降	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	
12	0107320	登山道等整備事業	拠点維持整備係		11,056,487	16,514,922			27,571,409	施設の管理運営	継続	H35以降	現状のまま事業を実施することが適当	0.2	
13	0107330	観光施設公園管理事業	拠点維持整備係		54,154,018	30,658,596			84,812,614	施設の管理運営	継続	H35以降	現状のまま事業を実施することが適当	1	
14	0107360	三股駐車場トイレ整備事業	拠点維持整備係		648,000	13,294,800			13,942,800	ハード(継続)	継続	H29	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	
15	0107410	自然交流センター「せせらぎ」の運営管理事業	拠点維持整備係		3,356,640	5,181,840			8,538,480	施設の管理運営	継続	H35以降	現状のまま事業を実施することが適当	0.3	

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	豊かな産業のあるまちの形成
基本方針	活力ある商工観光業を振興するまち
基本施策名	観光の振興

	所属	職名	氏名
作成者	商工観光部	課長	望月 淳利
評価者	商工観光部	部長	鎌崎 孝善

16	0108290	御宝田水のふるさと公園の管理事業	拠点維持整備係		724,569	1,610,106			2,334,675	施設の管理運営	継続	H35以降	現状のまま実施することが適当	0.2	
17	7101010	有明荘・長峰荘運営管理事業	拠点維持整備係		28,664,798	14,069,711			42,734,509	施設の管理運営	継続	H35以降	現状のまま実施することが適当	0.5	
合計					412,005,209	424,549,163	295,379,000	130,779,000	1,262,712,372						

<p>事務事業量とコスト(費用対効果)の分析</p>	<p>地域ブランド化に繋がる5つのプロジェクト事業を市民と実施し、安曇野林檎ナポリタンでは地方予選を勝ち抜くなど、ブランド化構築に寄与しています。天蚕振興事業においては新製品開発に取り組む後継者が育成されつつあり、これに対応した圃場を拡張しながら消費者ニーズに合う価格帯の新製品開発が期待されます。また、来訪者受入環境整備については、海外誘客プロモーション協議会を組織しモニターツアーによる現状分析がなされるなど、海外誘客戦略の課題と方向性が示され、今年度に引き続き、次年度はこれを具現化してまいります。本市の観光振興を支える観光情報センターそして魅力ある着地型旅行商品の開発・販売業務を担う観光協会についてはDMO化への取り組みが待たれています。観光消費額が伸び悩む中、新しい切り口の交流イベント等の事業展開に向け取り組みを進めています。</p> <p>観光拠点整備事業においては日帰り入浴施設「しゃくなげの湯」が開業。順調な滑り出しを見せています。引き続き観光施設の適正な維持管理に努め来訪者が快適に安曇野に滞在していただくよう効率的に事業を継続します。</p>
<p>重点化事務事業の考え方</p>	<p>本市を訪れる観光客は増加してはいるが、観光消費額は伸び悩んでおり、地域の観光素材の再発見の取り組みや、新たな観光コンテンツの導入が求められています。本市の弱みである観光二次交通を拡充するなど、来訪者の満足度向上に向けた取り組みを促進させるとともに、海外誘客戦略により官民連携による受入環境整備を促進し賑わいの創出と交流人口拡大を図る必要があります。</p>
<p>縮減・廃止事務事業の考え方</p>	<p>交流人口拡大による観光消費喚起の視点から、市外・県外からの来場が少ない地域イベントについて縮減していく必要があります。牧地区において開催されていた観光草競馬については、担い手の不足もあり、平成29年度をもって廃止とした。</p>
<p>総合評価(次年度へ向けた課題の抽出含)</p>	<p>専用HPの構築やロケ支援事業を促進し効率的な情報発信に努めていく必要があります。海外誘客戦略については国の加速化交付金推進事業を活用し海外に向けたプロモーションを具現化し、観光地のPRに加え観光に経営的視点を導入していく必要があります。</p>